

海外旅行の思い出アルバム自動編集

富士ファイルグラフィックシステムズ(東京・千代田、吉田肇社長)は、旅行会社などとともに海外旅行で撮った写真のアルバムを作成し、帰国時に空港で渡すサービスを展開する。旅行先でツアーの添乗員がデジタルカメラで撮った画像を国内のサーバーが自動編集し、客ごとにアルバムを

富士写真子会社 帰国時手渡し

作成する。新規サービスで提携先企業を開拓し、新たな収益源に育てる。ツアーの添乗員が、旅行先で撮ったデジタル画像をパソコンからインター

ネット経由で富士ファイルの「IMAGIQイメージック」サーバーに送ると、サーバーが自動的に画像をレイアウトする。自社開発の「顔認識

技術」で、同一人物が写っている写真を選び出す。画像の色バランスや濃度を自動調整し、アルバムに編集する。第一弾として旅行会社のクラブツーリズム(東京・新宿、太田佳男社長)の高級旅行ツアー「丸の内倶楽部」の参加者を対象に、サービスを提供する。九月から、欧州での夫婦参加型ツアーなどにサービスを本格展開し、来年三月には月一万人を

対象とするのが目標。

自動編集したアルバムを成田空港と羽田空港で渡せるようアルバムの印刷拠点を成田、羽田両空港に設置する。両空港での印刷拠点が完成するまではアルバムを顧客の自宅に郵送する。JR東京駅のほか、大阪、福岡、名古屋、札幌、仙台にもアルバムの印刷拠点を増やし、現地でアルバムを渡せるようにする。

富士ファイルグラフィックシステムズは旅行会社だけではなく、結婚式運営業者などにも連携先を広げ、結婚式後に参加者にアルバムを渡すサー

ビスを提供する計画。同社はサーバー利用料として、年三億円の売り上げを目指す。

